

こどもたちの
未来のために…

ファミリーマート
ありがとうの^{てがみ}手紙コンテスト

2016最優秀作品賞
受賞作品集

株式会社ファミリーマート
<http://www.family.co.jp>



ファミリーマート ありがとうの手紙コンテスト2016

今年度 8回目となる本コンテストは、夏休みの前に全国 19,943校・639万児童に向けてご案内し、結果6月1日から9月30日の約4ヵ月の間で、応募総数 38,806通にも上るころあたたまる作品をいただきました。甲乙つけがたい力作ぞろいの中から選ばれた、全国7つのブロックを代表する最優秀作品賞全21作品、審査員特別賞全35作品、学校・団体賞全7校・団体をご紹介します。なお、本コンテストの詳細報告は、ファミリーマートのホームページでもご紹介させていただいております。(http://www.family.co.jp/arigatou2016)

- 最優秀作品賞受賞作品紹介…………… 4
- 審査員特別賞受賞作品紹介…………… 25
- 学校・団体賞受賞校・団体紹介…………… 32

こども支援活動

ファミリーマートの社会貢献テーマである「こども支援」について、代表的な活動事例をご紹介します。これらの次世代を育成するさまざまな活動を通して、家族を、地域社会を、より良い将来を応援していきます。

- その他の活動…………… 33

実施概要

- 主催** 株式会社ファミリーマート
- 後援** 全国連合小学校長会
全国市町村教育委員会連合会
全国小学校国語教育研究会
全国小学校道徳教育研究会
全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会
生活科教育研究会
社団法人 日本家庭生活研究協会
株式会社 教育新聞社
- 応募期間** 平成 28年6月1日(水)～9月30日(金)
- 応募資格** 小学校 1年生～6年生
- 審査** 一次、二次、最終審査会と3回の審査を経て決定
- 最優秀作品賞** 低学年部門(1・2年生) 各ブロック1名 合計7名
中学年部門(3・4年生) 各ブロック1名 合計7名
高学年部門(5・6年生) 各ブロック1名 合計7名
※全国を7ブロックに分割し、審査を実施
- 審査員特別賞** 各ブロック5名 合計35名
- 学校・団体賞** 各ブロック1校・団体 合計7校・団体
- 最終審査会** 平成28年11月29日(火)
- 応募総数** 38,806通

ご報告にあたって

私たちファミリーマートは、社名にある「ファミリー」という価値観のもと、お客さまにとってより身近で、“家族のひとり”のような存在となることを目指し、快適で楽しさあふれる生活に貢献することを基本理念として掲げております。

「ありがとうの手紙コンテスト」は、このような理念に基づき、未来の担い手となるこどもたちの豊かな感性を育てることを目的として2009年より実施しております。

また、オリジナル商品である「おむすび」にベルマークを貼付して販売し、学校設備や教材などの教育環境の充実にお役立ていただくことをはじめ、実際の店舗では小学生のみなさんに「こども店長」のお仕事体験プログラムを提供するなど、全国のファミリーマートでは地域のみなさまとともに「こども支援」に取り組んでおります。

2016年度、第8回目の本コンテストには、38,806通のご応募をいただきました。授業の中で、あるいは夏休みの宿題としてご活用いただいたことを、諸先生方、保護者の皆様に深く感謝しますと同時に、本コンテストの社会的意義が年を重ねるごとに高まっていることを感じております。

ご応募いただいたこどもたちの作品には、日常生活における様々な「つながり」を大切にしようという思いや、家族、友人、先生、地域の方々、そして毎日使うものや自然への感謝の気持ちを表した作品が多数ございました。普段はなかなか伝えられない「ありがとう」の気持ちを、手紙という形で考え、伝えるきっかけになったことと、大変うれしく思っております。

受賞作品集は「最優秀作品賞」に選ばれた21作品の紹介を中心に構成しております。こころあたたまる手紙ひとつひとつを是非お読みいただければ幸いです。

ファミリーマートはこれからもお客さま一人ひとりの気持ちに寄り添い、常に楽しさや新しさを感じていただける、一番身近なコンビニエンスストアチェーンを目指してまいります。

次回もたくさんのご応募をこころよりお待ちしております。

平成29年 1月 吉日

株式会社 ファミリーマート
代表取締役社長 澤田 貴司

審査員講評



審査員長

ジャーナリスト
池上 彰

今年で8回を迎えたこのコンテストを機に、子どもたちは誰にありがとうの手紙を書こうかと一所懸命考えたことでしょう。その中で、家族や友達、学校の先生など、まわりの人たちに支えられて自分が生きているんだという風に改めて気づいたのではないのでしょうか。相手を大切に思い、感謝の気持ちを手紙で伝えることは、子どもたちの成長につながりますし、その作品を読む私たち大人にも新たな気づきと感動を与えてくれます。子どもたちの作品の中に、「ありがとうについて考えるきっかけをくれた人にもありがとう」という言葉がありました。一人でも多くの子どもたちにそう言ってもらえるように、これからも続けていきたいと思います。



審査員

児童文学作家
こやま 峰子

毎年、子どもたちの「ありがとうの手紙」をわくわくしながら審査させていただいています。まだ幼い子どもたちが自分の気持ちを素直に文章に綴り、それを読んでいる私たち大人がツツと笑ったり、新鮮な発見に驚いたり、深い観察力に感心したり、時に涙を流したり……。子どもたちの手紙を読むたびにこころから魅了されますし、子どもの潜在的な力は本当にすごいと実感します。今年で8回目を迎えました。今後もコンテストを通じてたくさんの子どもたちが感謝の気持ちを言葉で伝えることの大切さを感じてくれたらとてもうれしく思います。



審査員

株式会社 小峰書店
代表取締役社長
小峰 紀雄

コンテストが始まって8年が経ちました。年を追うごとに、子どもたちの手紙の構成や文章、イラストの表現力が豊かになっていると感じます。同時に、「ありがとう」という言葉について深く考えることにより、まわりの人のみならず、物や動物、自然などさまざまなものへの感謝を発見できることもすばらしいことだと思います。いずれの作品を読んでも、子どもたちがさまざまな人や出来事に遭遇し、葛藤や試行錯誤を繰り返しながら、よりよく生きようとしている姿に深い感動を覚えます。このコンテストが、子どもたちの生きる力を育む一助になることを願っています。



審査員

日本ペンクラブ常務理事
「子どもの本」委員会委員長
野上 暁

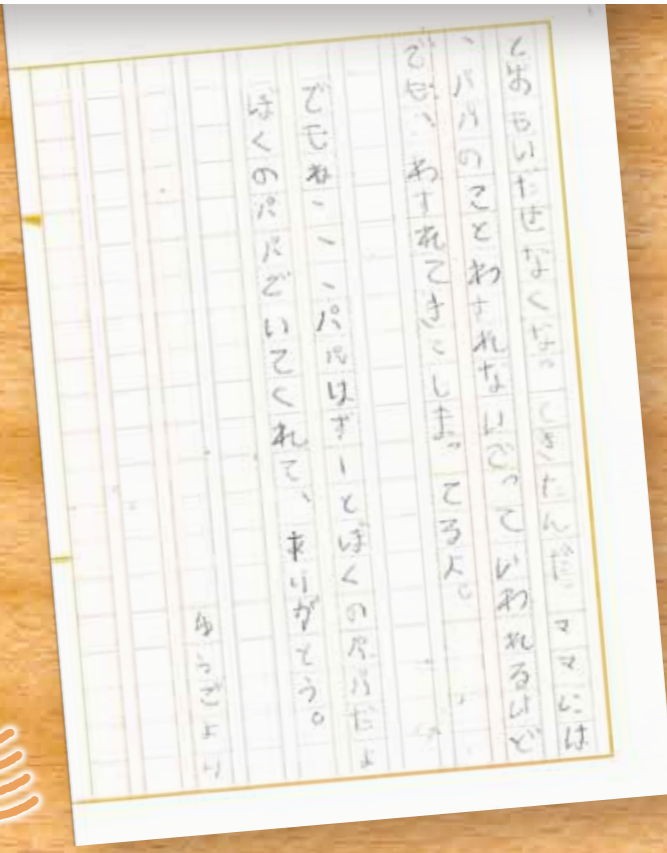
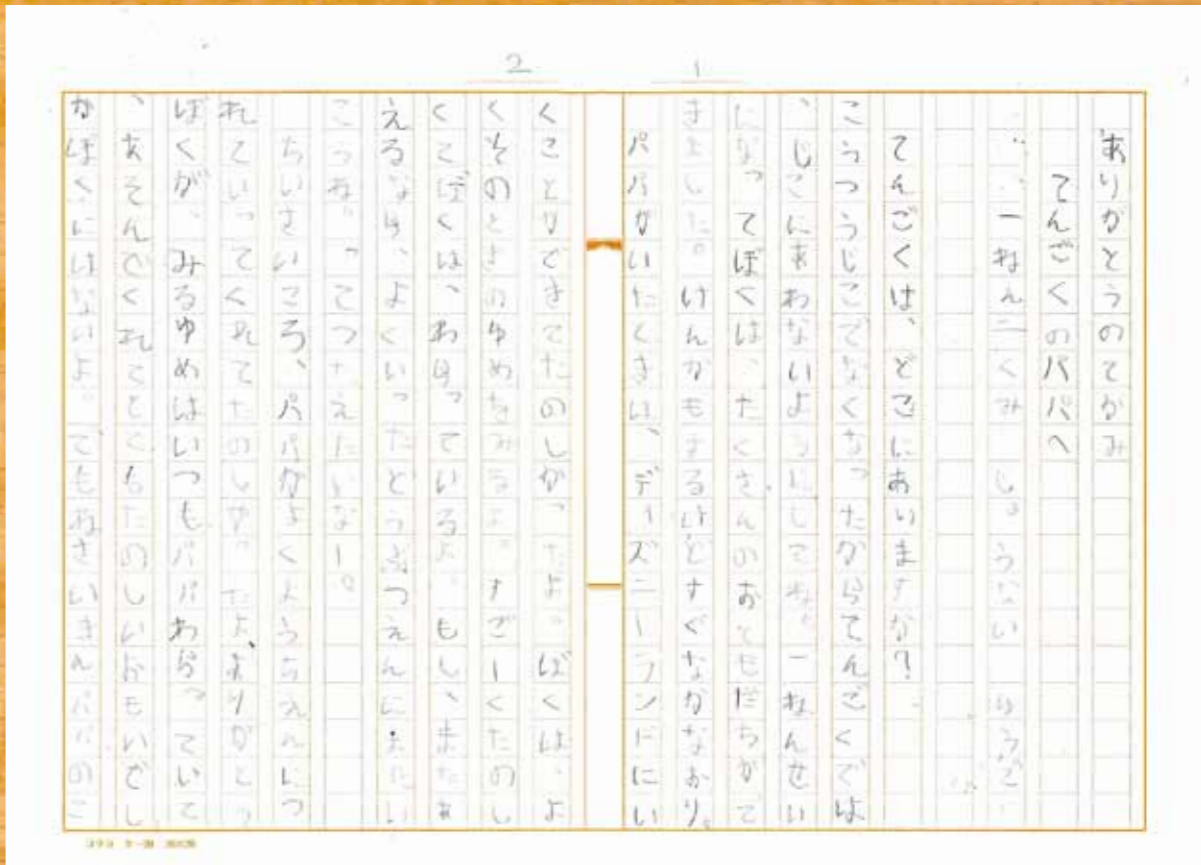
最終選考に残った作品はどれもすばらしく、審査には非常に迷いました。回を重ねるごとに感謝の気持ちを伝える対象が広がり、文章やイラストなどの表現方法も豊かになっていますので、来年以降にも大きな可能性を感じます。同時に、子どもたちの手紙を読みながら、いまを生きる子どもたちがなにを見つめ、なにを感じ、なにを考え、そして「ありがとう」という言葉にどれほどの輝きを感じているかを実感する貴重な体験をさせていただきました。このコンテストが、たくさんの人たちに「ありがとう」という言葉の輝きを再認識していただけるきっかけになることを願っています。



審査員

株式会社ファミリーマート
取締役 常務執行役員
中出 邦弘

8回目を迎えた「ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト」に多数のご応募をいただき誠にありがとうございました。全国から38,806通にのぼる作品の応募をいただきました。今回はじめて審査員を務めさせていただきましたが、子どもたちの感性の豊かさ、思いやりの深さ、そして感謝の気持ちを短い手紙の中で一生懸命表現しようとする姿に深く感動いたしました。そうした子どもたちの努力と創意工夫に、私たちから「ありがとう」の気持ちを伝えたいと思います。たくさんの「ありがとう」の輪が、このコンテストを通じて地域社会に広がることを願っています。



低学年の部



最優秀作品賞

城内 優悟さん(1年)
仙台市立 西中田小学校

審査員から 父との楽しかった思い出が具体的に描かれていて、父への思いや感謝が伝わってくる。こどもらしい正直な言葉がこころに響く。

すずめのすずちゃんへ



いつもわたしの家に来てくれてありがとう。
すずちゃんは毎日朝一番に来て、高くてきれいな声
でわたしをよぶね。まどを開けたら屋根からおり
て来て「チュンチュン」とあいさつをしてくれるね。す
ずちゃんがとてまあいいから家ぞくみんなが元顔に
なれるよ。エサをあげたらどこかにとんで行って
友だちをよんでくるね。そのときはお友だちと
こっそりくるね。わたしは何もないからそんなに
こわがらなくてもいいんだよ。

それと雨の日にも来てくれてありがとう。
「雨にぬれるから早く帰りなさい」と言っても近く
で雨やどりしているね。お友だちが帰ってもすず
ちゃんだけさいごまでいてくれてうれしいよ。
家ぞくみんなを元顔にしてくれてありがとう。
すずちゃんこれからもずっとわたしの家に来てね。

ちはるより



仙台市立病院 まつのみ教室 担任 砂金みどり先生へ

僕は腎臓の調子が悪くなり、6月20日から7月15日まで
仙台市立病院に入院していました。そして、治療を受けながら
院内学級「まつのみ教室」で授業を受けていました。みどり先生、
ありがとうございます。みどり先生が、生徒一人ひとりにやさ
しく接してくれている姿はとても印象的でした。

僕は、初めての長い入院で、点滴で治療を受けたり、食事の
制限があったりして、大変でした。また、一生懸命治療を受けて
も、どうなるかはきりとわからないまま、苦手の点滴や検査を
受けていました。そんな中、みどり先生が、やさしく、そして
明るく接してくれて、学年の違う友達とも仲良くできる雰囲気
を作ってくれました。そのおかげで、同じ院内学級の友達と一緒に
勉強したり、プレイルームで遊んだりすることができました。

僕は、体力や今後の手術、食事の問題などまだまだ不安なこと
がたくさんあります。でも、まつのみ教室で過ごした時間と一緒
に頑張ってきた友達の存在は今後の大切な支えになっていくと
思っています。僕は、ここでの時間と友達のことを忘れません。
本当にありがとうございました。

平成28年7月28日

大沼 碧緒衣

中学年の部



最優秀作品賞

山田 千陽さん(3年)
仙台市立 長町小学校

審査員から * すずめという小さな友達への愛情が伝わるほほえましい手紙。
手紙に添えられた、すずめのすずちゃんのイラストがとても愛らしい。

高学年の部



最優秀作品賞

大沼 碧緒衣さん(6年)
仙台市立 連坊小路小学校

審査員から * はじめての長い入院生活での不安や、その中で支えてくれた
院内学級の先生への感謝の気持ちが表現力豊かに描かれている。

めだかさんへ

たまごをもらって来たときはこれからあなたたちがど
うやって生きるのがワクワクしたよ。みんなが生まれ
きてくれてほんとうにうれしかった。だけどみんなが
大人になる前にしんでしまっ、ほんとうにがなしかつたよ。
生きもののがうのつてもとがたんだと思っていた。
みんなが大人になれるわけじゃなくて聞いたけど
かなしいね。これからはこのお手を大人までそだてら
れるようにがんばるよ。ほんとうにほんとうに大好き
だからね。いまでもありがとう。

みほより

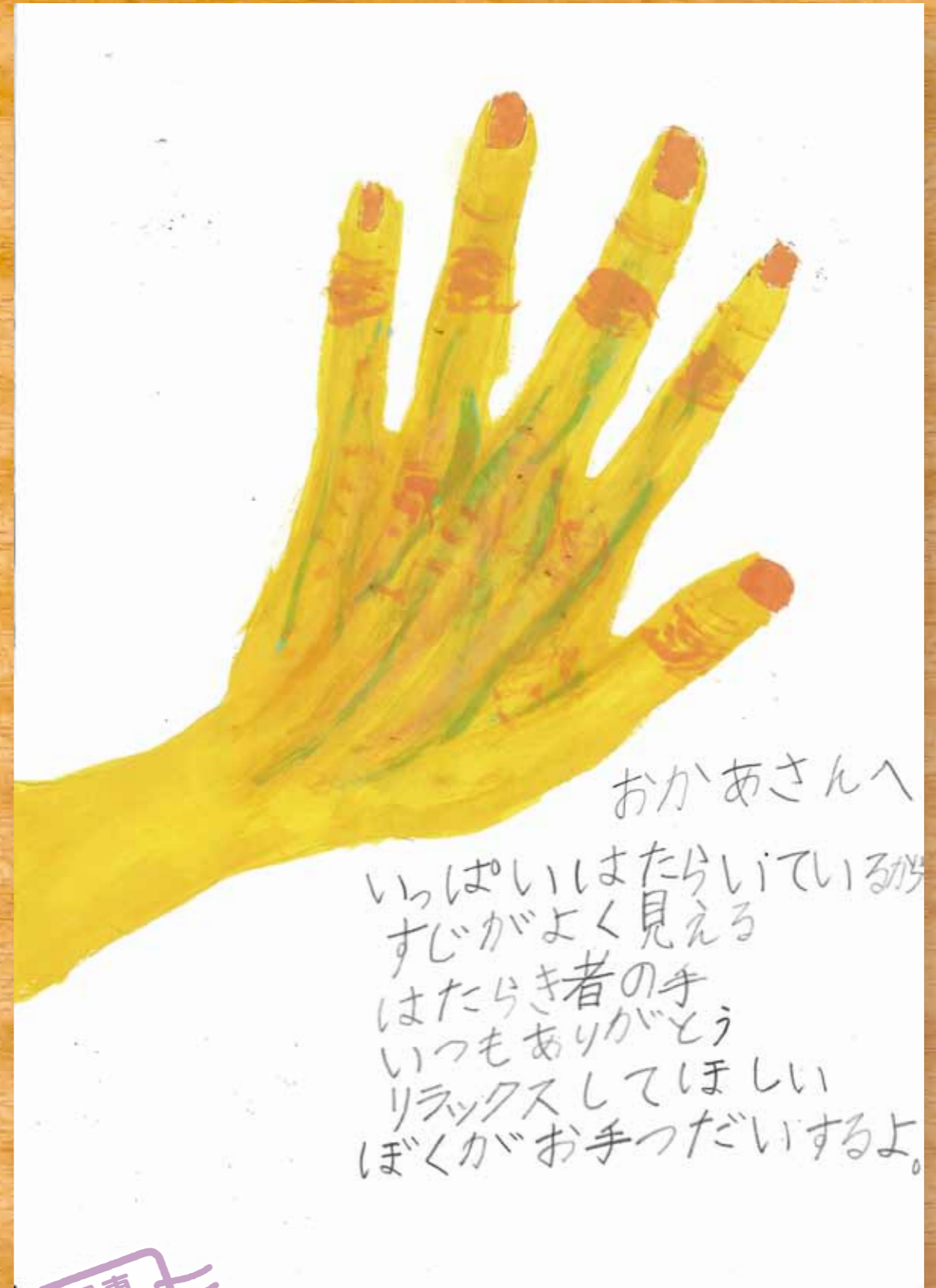


最優秀作品賞

まつかわ みほ
松川 実穂さん(2年)
渋谷区立 笹塚小学校

審査員から 自分の手でめだかを育てることで、命のはかなさと大切さを身を持って学んだ様子がよく表現されている。めだかの絵も愛らしい。

低学年の部



おかあさんへ

いっぱいはたらいているが
すじがよく見える
はたらき者の手
いつもありがとう
リラックスしてほしい
ぼくがお手伝いするよ。






最優秀作品賞


おかもと いちた
岡本 一太さん(3年)
横浜市立 戸塚小学校

審査員から 短い手紙から、母への深い愛情と思いやりが伝わる。飾ることなく、シワや筋まで丹念に描かれた母の手がとてもよい。

中学年の部

いつもありがとう。  

お父さんとお母さんに自然に言ってる、「ありがとう」はよく考えるとたくさんあるんだね。ごはんを作ってくれてありがとう。せんたくをしてくれてありがとう。学校に入らせてくれてありがとう。お仕事をしてくれてありがとう。成長を見守ってくれてありがとう。生んでくれてありがとう。小さいことでも大きいことでもどのありがとうもすべてに心がこもっています。自然に言っているけれど「ありがとう」がいえるなんて、私はすごく幸せです。家族でも友達でも先生でもそれだけは同じだよ。ふたんはこういってことを考えないけど、「ありがとう」について考えるとき、かけをくれた人にもありがとうで感謝の気持ち伝えたいな。「ありがとう」って人と人をつなぐものだと思うよ。

だからこれからも感謝の気持ちをなくさずに生きていく。これが「ありがとう」をいわせてくれた人への言葉だよ。

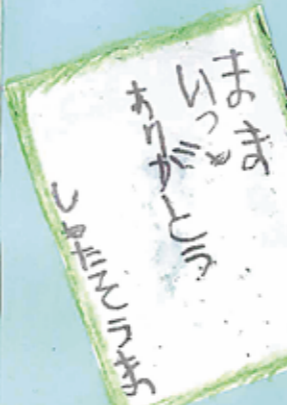
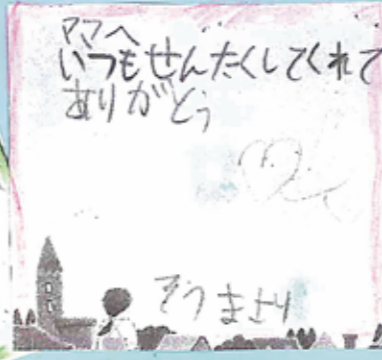
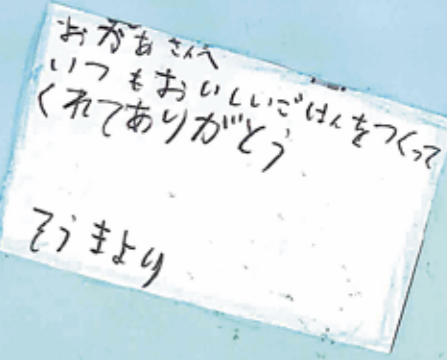
いつもありがとう。

関東1
ブロック

最優秀作品賞

あべ すずの
阿部 涼乃さん(5年)
横浜市立 矢向小学校

審査員から * 「ありがとう」にはさまざまな意味やシーンがあるという視点が見え、
『「ありがとう」って人と人をつなぐもの』という表現が秀逸。

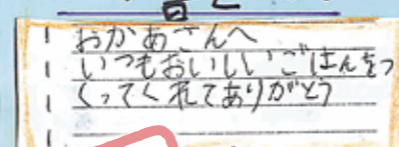
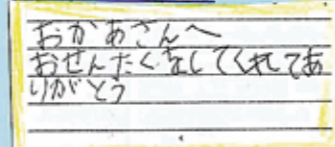
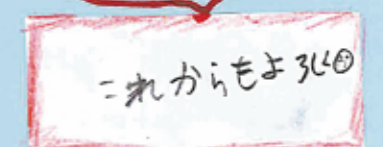
  

お母さんへ

ぼくは、まい日おこられて、うるさいから耳を小さくたくなるけどお母さんが一番大好きです。

ぼくは、生まれたときからバズうにびょう気があって大争じゅうつしたからお母さんはいつもババいしてるけどリレーのせんしゅだしサッカーも大好きでしたいいくがどい。学校でおなかのせん見せて言われるけど、お母さんが、がんばった人にしかないしうして言ってたから、ぼくのたからものだよ。友達ちに言われると少しいやだときもあるけどね。けんこうに生んであげられなくてごめんね。って言うけど、ぼくは、元気だからババいしないでね。まい日ぼくたちのせわでつかれてるから、こんどお手つだいしてたすけてあげたいです。

ぼくのお母さんでありがとう
また手紙いっばい書きたくな
たら書しね。 そうまより

ぼくの手紙をたくさん
たからものにしてくれて
ありがとう

これからもよろしく

関東2
ブロック

最優秀作品賞

しもた そうま
霜田 湊真さん(2年)
筑西市立 竹島小学校

審査員から * 手術の跡を「がんばった人にしかない印」と言う母との絆に深い感動を感じる。
母の愛情を受け、素直にまっすぐ育っている姿が目につく。



大好きなおじいちゃんへ

私のおじいちゃんは、製菓会社を定年してから、ひいおばあちゃんかてくなった後、「つぼ焼き」という焼きいも屋さんをやっています。川越でほんたうに一人だけのお店です。おいもは、つぼの中でつぼして、火をくわながらの焼き方です。自転車のスポークを曲げたものにおいも二本を15個つるして、一回に30本焼くことができます。つぼの中は240度位あるので、軍手をしてもとても熱いのでおじいちゃんをよくやけどをします。私は、おじいちゃんから、焼きたての甘くておいしいおいもをもらって食べると、最高に幸せです。

病院に入院して食事が取れない人や、お年よりの人も、おじいちゃんのおいもを食べると元気になるそうです。私は、「まじまじのさつまいもだ！」と思います。赤ちゃんをだいたママも、りにゅう食用においもを買って行くのでとても助かると言っていたよ！どんなにつかれていても、お客さんにいつも笑顔で出しているおじいちゃん、かこいよ。おじいちゃんはおいもでみんなを元気にしてくれてありがとう。いつも私の弾くピアノをはめてくれてありがとう。やさしくしてくれてありがとう。

おじいちゃん、75才でも、雨にも負ける、風にも負ける、1日も休まず働いているのでとてもすごいと思います。私も元気に学校に行き、勉強がんばるよ！今は、暑い夏ですが、体に気を付けて働いて下さい。せみか、かんべしとおうえんしているおじいちゃん。

水村 心菜より

関東2ブロック

最優秀作品賞 ▶ **水村 心菜さん(4年)**
川越市立 霞ヶ関西小学校

審査員から * 「つぼ焼き」の様子や、祖父の焼きいもを買っていく人たちの声がとても丹念に描かれている。似顔絵からは祖父のやさしい人柄が伝わる。

中学年の部

川田先生

いつも美味しい給食を作ってくれて、ありがとうございます。私は、5年生になって初めて給食を食べることが出来るようになりました。牛乳アレルギーだから、普通の給食を食べることが出来なくて、毎日お母さんのお弁当でした。お昼にお母さんが温かいお弁当を届けてくれるのはすごくうれしかったです。お弁当は皆と同じ給食を食べたかたです。あの配膳の列にならぶみたい、給食はどんな味かな？と、いつも思っていました。でも、4月から川田先生が稲丘小学校に来てくれて、アレルギーの児童にも食べられるようにメニューを考えてくれてから、私の夢が叶いました。初めての給食はドキドキでした。配膳の列にならぶと、うれしさと不安が入り交り、本当に大じょうぶかな、アナラキシーは心配さなかなし色々考えたら、一口目がなかなか進みませんでした。それから、また1度給食を残してません。おいしいものもがんばって食べてます。アレルギーのメニューを考えるのは大変なうけど、これからよろしくおねがいいたします。

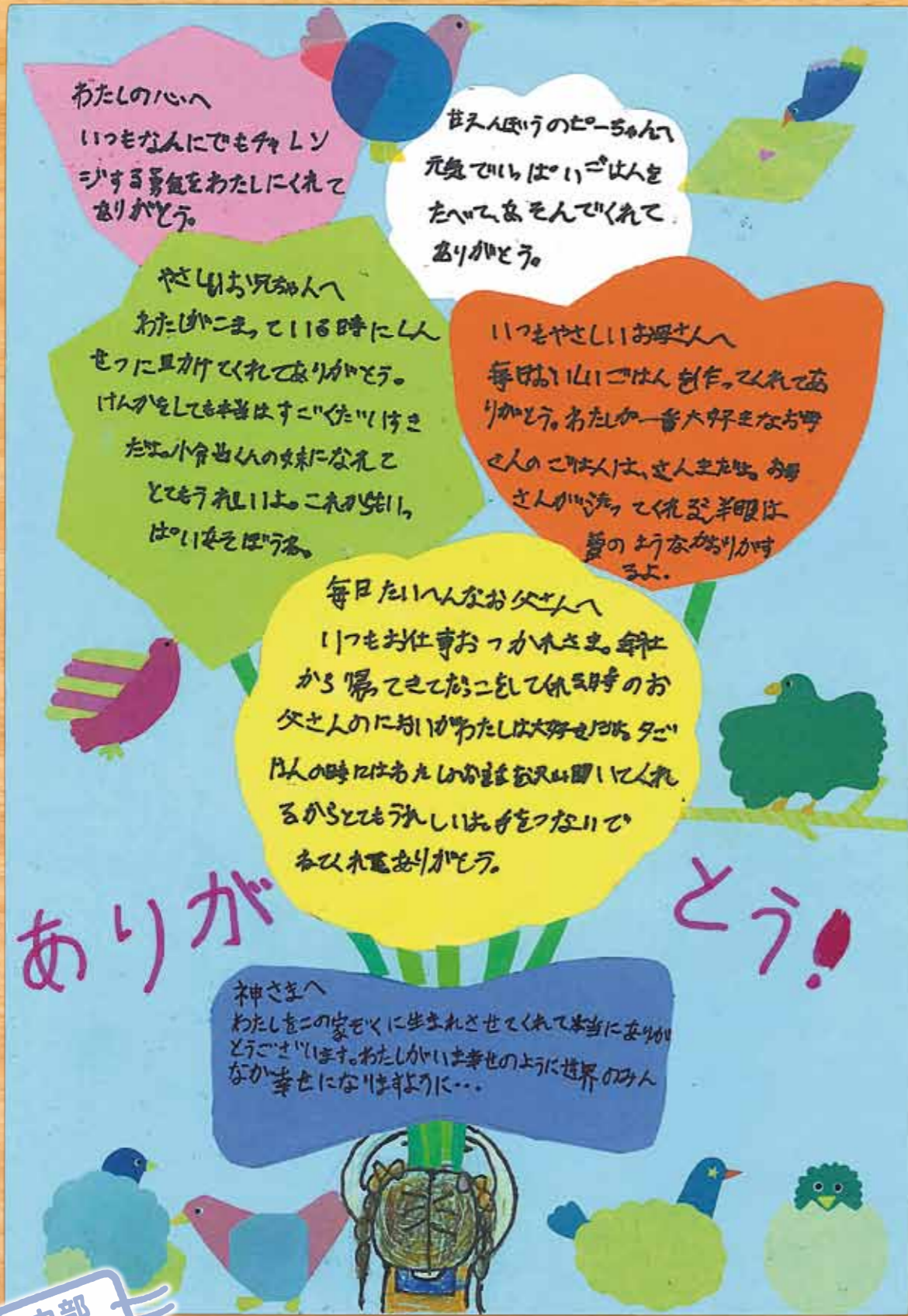
稲丘小 5-1 花光 真緒 (女)

関東2ブロック

最優秀作品賞 ▶ **花光 真緒さん(5年)**
千葉市立 稲丘小学校

審査員から * 皆と同じ給食を食べるとい夢が叶った喜び、そのためのメニューを一生懸命考えてくれている先生への感謝の気持ちがいきいきと表現されている。

高学年の部



ありがとう!

低学年の部

中部 東海 ブロック

最優秀作品賞 ▶ 鎌倉 梨々華さん(2年) 諏訪市立 中洲小学校

審査員から 家族だけでなく、自分自身のところや神様にも「ありがとう」というのは、とてもユニークな発想。感謝の気持ちを花束で表現しているのもすばらしい。



中学年の部

中部 東海 ブロック

最優秀作品賞 ▶ 天野 晃太郎さん(3年) 安城市立 桜井小学校

審査員から 祖母が育てる野菜や果物のおいしさだけでなく、作物を育て収穫する大変さまで表現しているところがよい。スイカをかたどった手紙が楽しい。

おばあちゃん

今、自分がやることが出来るのは、おばあちゃんのおかげです。習い事は、遠くまで送り迎えをしてくださったり、おばあさんの検定では、みんな知っている私に「いつも通りすれば、結構なら合格するよ」と温かい声をかけてくださいます。そのおかげで4段を合格することができました。おばあちゃんは、合格すると自分のことじゃないのに、すごく喜んでくれて、いつもごほうびにケーキをくれたりします。今年中に6段を合格して、もともと、おばあちゃんのすてきな笑顔を見たいです。

お母さんは仕事から帰ってくるのがおそく、毎日おばあちゃんがごはんを作ってくれます。おばあちゃんが作るごはんの中で私は、「奥さんのカレーライス」が大好きです。おばあちゃんの作るカレーライスは、「おいしい」と近所で有名です。有名なカレーライスがいつも食べることができ、私の家族は幸せものです。カレーライス以外もおばあちゃんが作るごはんは世界一です!! これからも、おばあちゃんが作るおいしいごはんを食べて、元気いっぱいがんばります。

おばあちゃん、いつもめいわくをかけてくれるね。私は、だれよりもおばあちゃんのことを大好きだよ。だから、これからもお世話よろしくね。いつもありがとう。

おばあちゃんは70才で、「よくし痛いな」や「つかれたな」などと言います。だから、ごはんを作るのを手伝ったり、自分でできることはおばあちゃんにたよります。おばあちゃんの口から「し痛いな」や「つかれたな」という言葉をなくしたいです。そして、大好きなおばあちゃんには長生きをしてもらい、ギネス世界記録を達成してほしいです。

中部
東海
ブロック

最優秀作品賞 ▶ 草切 結羽さん(6年)
入善町立 上青小学校

審査員から * 祖母へのさまざまな感謝を上手に書き分けている。文章とイラストをうまく組み合わせることで、華やかで美しい手紙になっている。

高学年の部

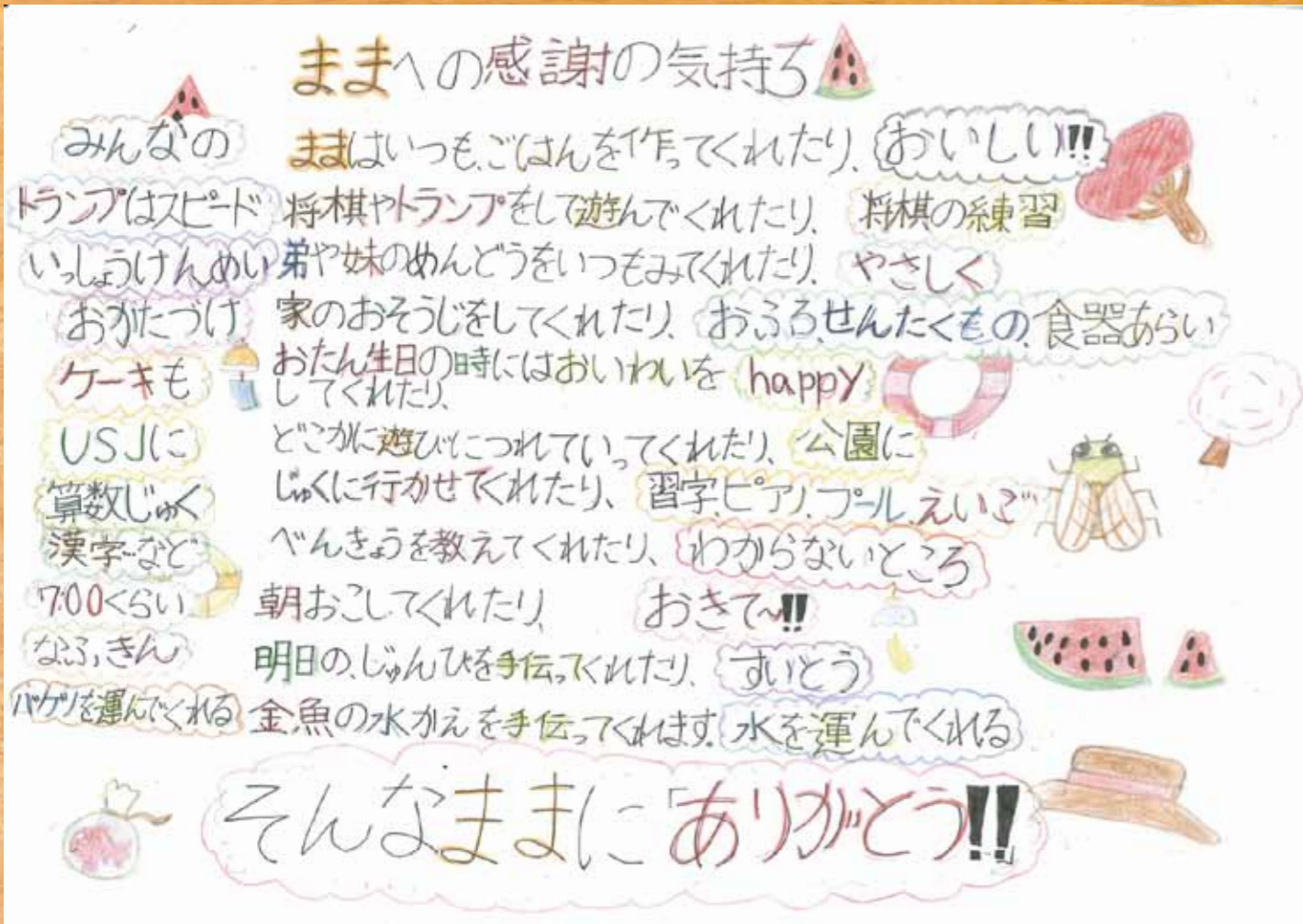
いぬたにいちゃんへ
おにいちゃんできてくれてありがとう。
しかられているとき、いつもみんななかにはいって、いしかられてくれたね。さむいおちたよ。かおやでもペロペロなめてくれてありがとう。りゅうくすたよ。ぱぱとたかいごっこをしているとき、いっしょにたたかってくれたね。
おにいちゃんにまもってもらってうれしかったよ。ぱぱはとこについてかぶかぶかむおにいちゃんかかかこよかったよ。びょうきときは、とんとにいてくれたね。
このあいだ、ぼくがこうつうじこにあたまたいたことが、なかのほてんごくから、いつもみまわってくれているいぬたにいちゃんかたすけてくれたから。
ありがとう、おにいちゃん。おしえてもらったやさしさは、ぼくかみんなにとどけるよ。
おとうとのはるきよ

関西
ブロック

最優秀作品賞 ▶ 久保 温幹さん(1年)
大阪市立 南田辺小学校

審査員から * 亡くなった愛犬への思いが、こどもらしい素直な文章で表現されている。本当の兄弟のように育った時間が想像でき、あたたかい気持ちにさせてくれる。

低学年の部



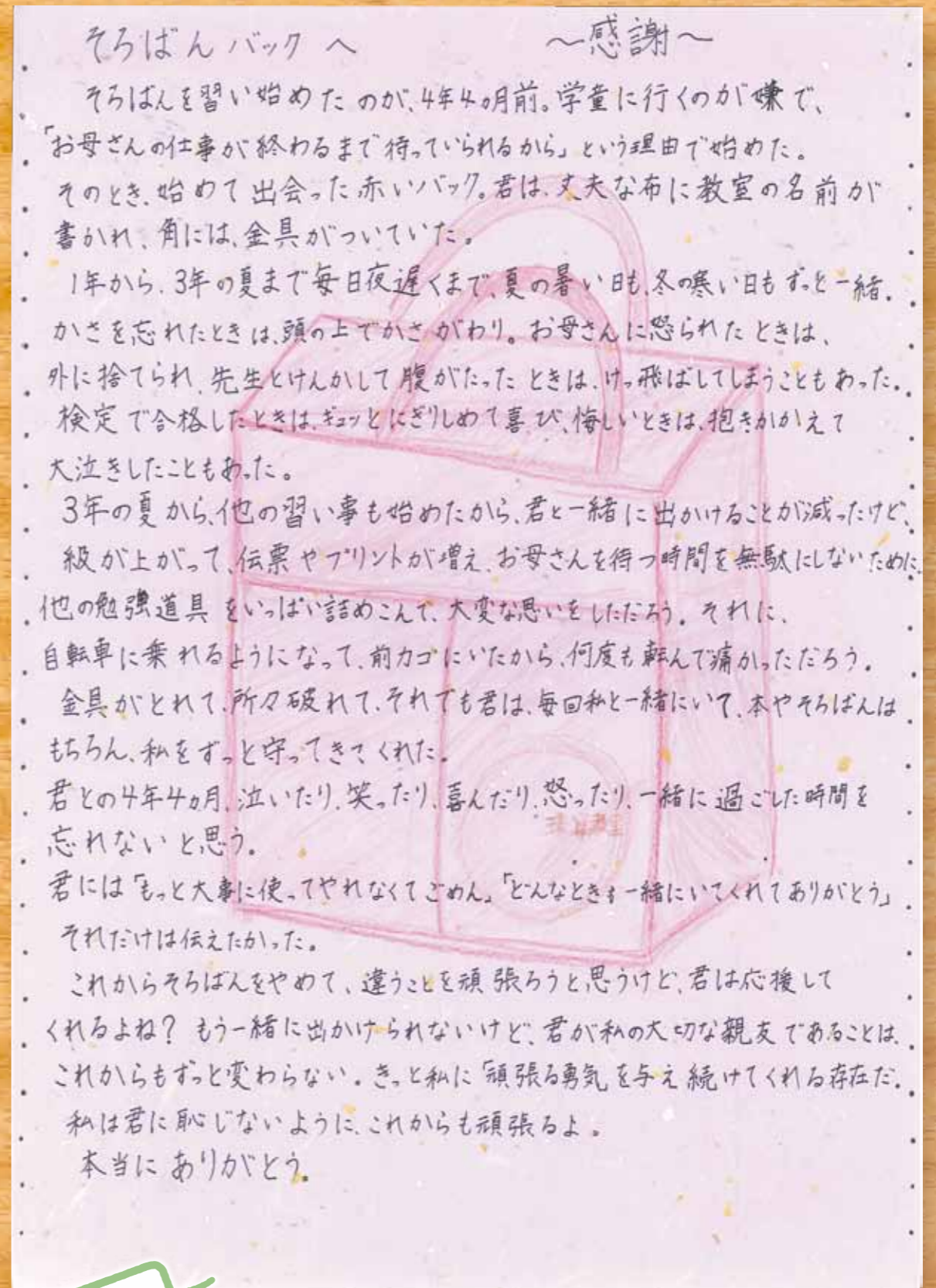
中学年の部



最優秀作品賞

新出 由奈さん(4年)
大阪市立 苅田北小学校

審査員から * 母への感謝の気持ちを、リアリティのある言葉で表現しているところがよい。色鉛筆やイラストを上手に使うことで、色彩豊かな手紙になっている。



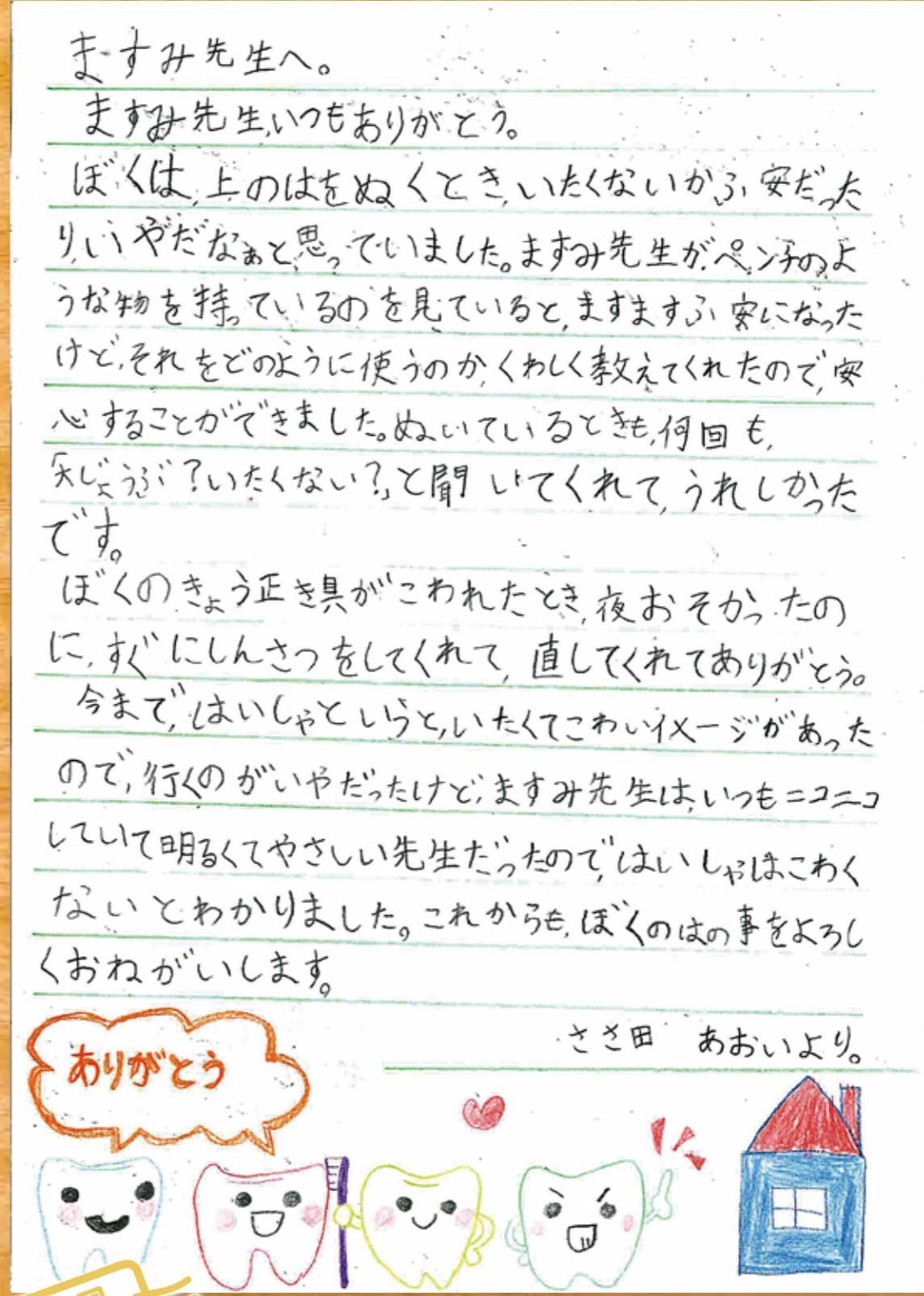
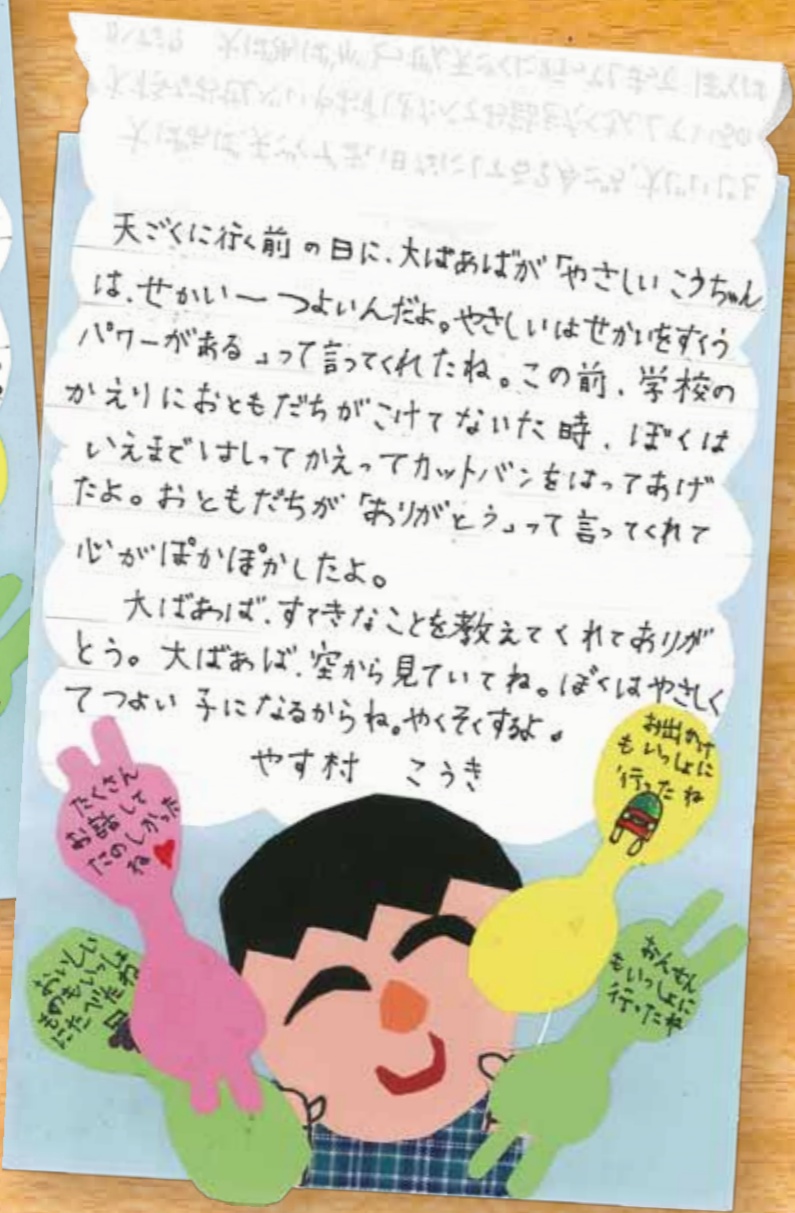
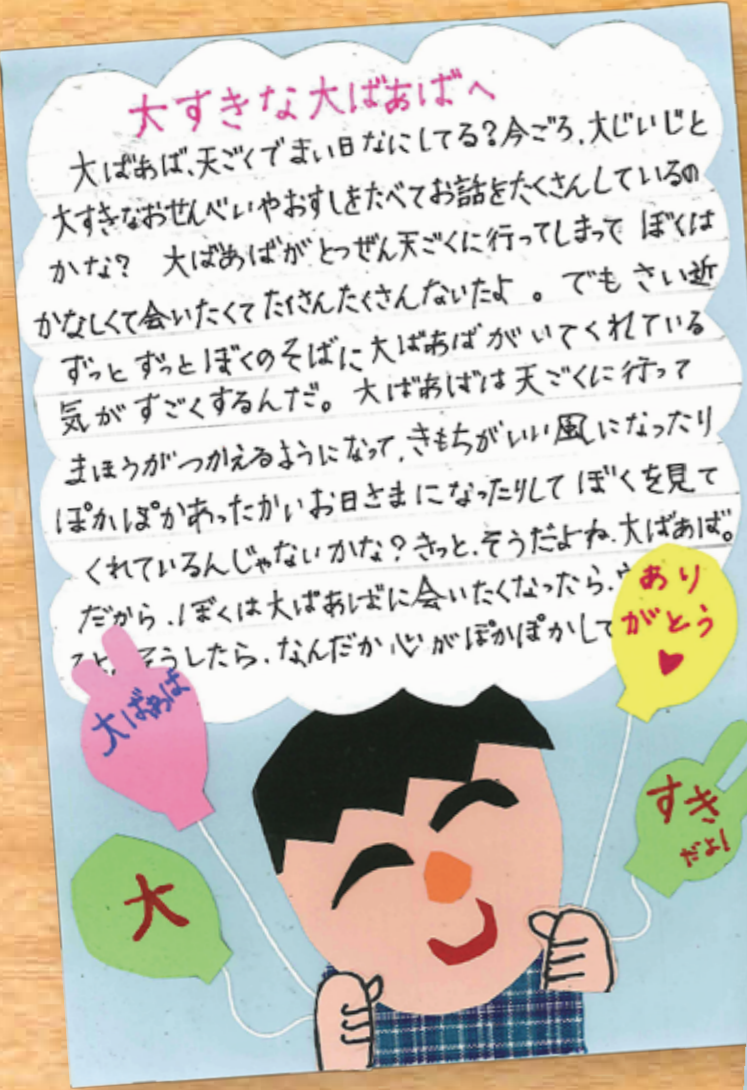
高学年の部



最優秀作品賞

折居 みほさん(5年)
紀の川市立 池田小学校

審査員から * 4年4か月使いつづけたそろばんバッグへ「ありがとう」を伝える手紙。「私は君に恥じないように、これからも頑張るよ」という誓いがすがすがしい。



低学年の部



最優秀作品賞

やすむら こうき
安村 恒輝さん(2年)
防府市立 牟礼小学校

審査員から 大好きな曾祖母への感謝の気持ちが、いきいきとした文章で表現されている。「やさしいは世界を救うパワーがある」という曾祖母の言葉が胸をうつ。

中学年の部



最優秀作品賞

ささだ あおい
笹田 葵さん(3年)
藍住町立 藍住東小学校

審査員から 通っている歯医者さんに「ありがとう」の気持ちを伝える手紙。明るくやさしい先生と出会ったことで、歯科医院のイメージが変わったことがよく伝わる。



パパ
 ぼくは、いつもいつもは知っているパパにがんばっています。
 月曜日から土曜日までは、怒りのばういんにいらして水と汗
 のあひるからは、せきばういんにいらしてたいへんだと
 おもいます。たくさんはたらくいつもありがとうとこころの中
 でおもっています。おまもとしんの時、ぼくたちをひなんさせ



あと、パパはかみじりさんのためにばういんにいらた
 ん。さみしかったけど、おいしいさんでたいへんだが、たまた
 いとおもったよ。しゅうけんめい、はたらくパパはかっこい
 いです。休みの日はつかれているのに、いんぱんじろにつ
 れていらてくれてありがとう。これからはぼくが家そこのおとこか
 しさんのためにかみじりさんでござい。いつもは常ないけ
 ばかみじりしています。ほんとにありがとう大好きだよ。
 かずきより



長谷川先生へ

初めて先生に会ったのは4年前。先生が今よりも良くしてあげるからね、
 その言葉を信じて夏休みに手術することを決めました。入院中、友達が
 外で遊んだりプールで泳いだりしているのがうらやましくて「みんなと
 ちがうわたくしが悲しかったです。だけど先生は毎日楽しい話をして
 笑わせてくれ「見れないなあ」と思っていた花火も病院でみせてくれ
 ました。同じように入院している子と友達にもなって、さおいで先生に注意され
 ることもあり。今は年に一度だけしか会えないけれど、元気づけられ
 たをみせて、しょうらいの夢や学校のことなどを話したいです。先生に出会
 えて本当によかったです。これからもよろしくおねがいします。
 井田 杏梨咲より

高学年の部



最優秀作品賞

井田 杏梨咲さん (5年)
 岡山市立 宇野小学校

審査員から 病院の先生との出会いから、入院中の様子、そしていまの気持ちまでが、とても丁寧に綴られている。病院をかたどった手紙というアイデアもおもしろい。

低学年の部



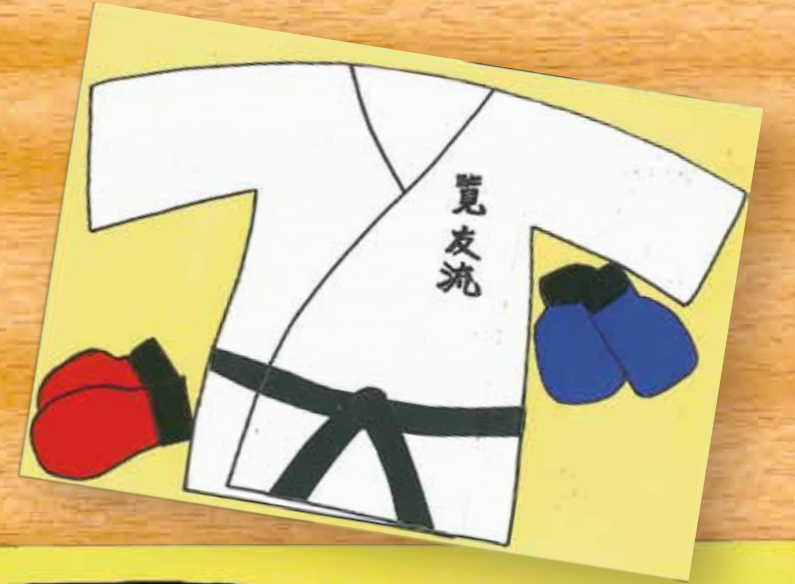
最優秀作品賞

石田 一生さん (2年)
 熊本市立 月出小学校

審査員から 家族や患者さんのために懸命に働く父への思いやりがあふれている。「一生懸命働くパパはカッコいいです」という表現が素直でほほえましい。



水泳のリレーのなかまへ
 毎日いっしょに水泳を練習しているよ。いっしょに遊
 ぶことも多いよ。大会の前の日にわたしたちだけのス
 リーの練習をしたこともあったよ。リレーでははいけたこともあ
 ったけどその時はやさしくはげましてくれたよ。大会のごほうび
 でいっしょに遊びに行った時はとても楽しくて今でもあ
 られられないよ。リレーメダルをとった時はメダルを口に
 くわえて写真をとったこともあったよ。おそろいのキ
 ーホルダーを買う時はすごくなやんで時間が
 かかったよ。楽しい時もうれしい時もか
 ない時もつらい時もずっといっ
 しょにいたよ。これからもずっと友達
 でいようね。



師はんへ
 師はん 天国でも元気にはいますか。ぼくは
 まだ師はんがなくなった事を今だに信じきれてま
 せん。ぼくが、空手を始めて、師はんがたくさん事を
 教えてもらって九州大会や全国大会など大きな経験
 をしてきました。しかしぼくは昨年の十二月師はんの道場ではな
 く別の道場へ移動しました。それ以来毎日一糸着いてまこの
 様にわいがらくれた師はんと一緒にいれなかった事がとても悲し
 かったです。師はんがなくなる五日前何かがバカに会う師はんは泣き止んでい
 る元気な師はんではなく涙が止まらなくなりました。道場で師はん二人で話を
 した時に龍之介がいなくなることが一番さびしかった。おれもかえはるからお前がは
 れよと言って下さいましたよ。この言葉は一生忘れず心にしまっておきます。師はんがな
 くなった今二人の約束であった四年後の鹿児島国体に向けて的が入っています。
 今ま着てくれた師はんの言葉ではなく空手という形で恩返しできるように
 がんばります。師はん四年後鹿児島国体の会場で会いましょう。押忍。

中学年の部



最優秀作品賞

照井 結衣さん(4年)
 有田町立 曲川小学校

審査員から * 一緒にがんばった仲間たちへの感謝の言葉がとてもさわやか。
 全員で獲得したメダルをモチーフにした手紙は、デザイン的にもすばらしい。

高学年の部



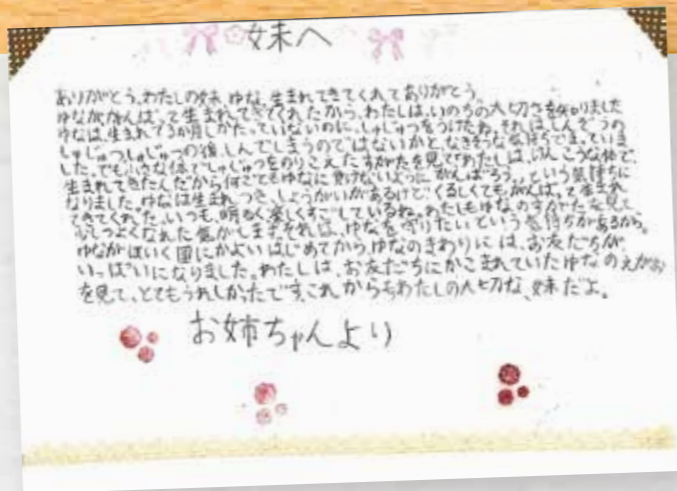
最優秀作品賞

上栗 龍之介さん(6年)
 鹿児島市立 田上小学校

審査員から * 亡くなった空手の師範への手紙。師範の言葉を胸に国体出場する決意の一節が力強い。
 胸着を開くと手紙になっている工夫もよい。

審査員特別賞

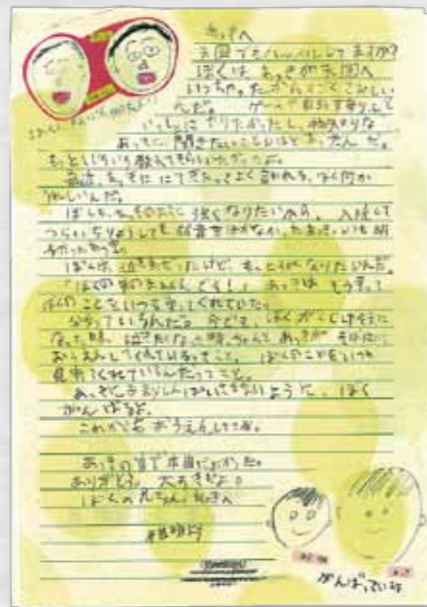
北海道・東北
ブロック



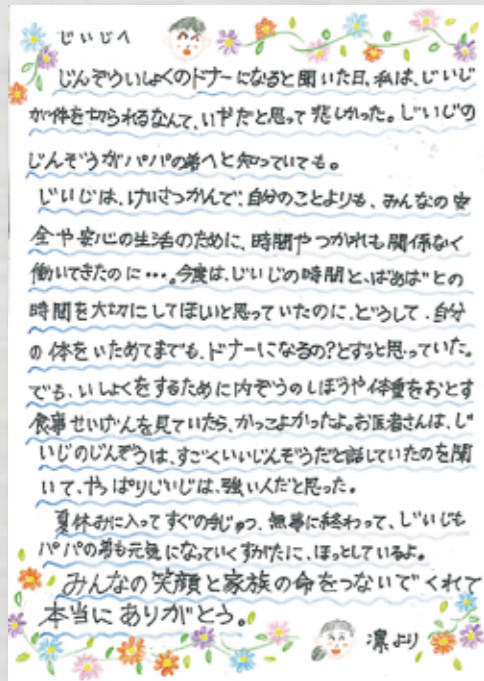
2



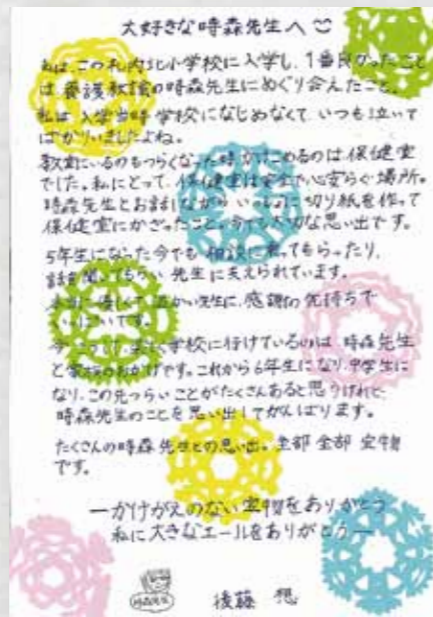
1



3



4



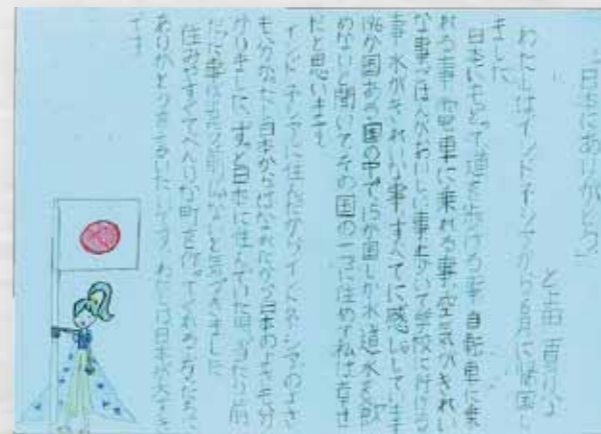
5

審査員特別賞

関東1
ブロック



1



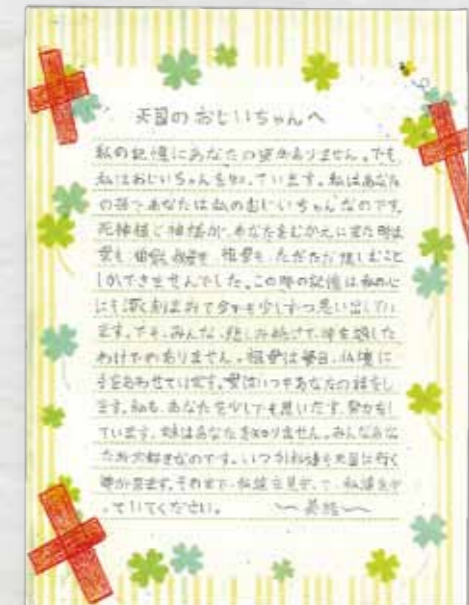
2



4



3



5

1 白戸 響さん(2年)
福島市立 蓬萊東小学校

2 細川 羽菜さん(3年)
仙台市立 中山小学校

3 及川 雅明さん(4年)
登米市立 佐沼小学校

4 石倉 凜さん(5年)
会津若松ザベリオ学園小学校

5 後藤 想さん(5年)
幕別町立 札内北小学校

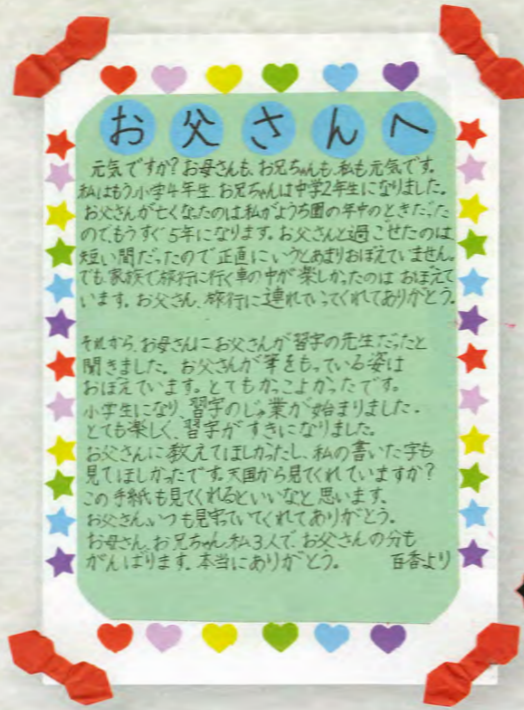
1 今井 美桜さん(1年)
横浜市立 子安小学校

2 豊田 夏梨奈さん(3年)
荒川区立 第三瑞光小学校

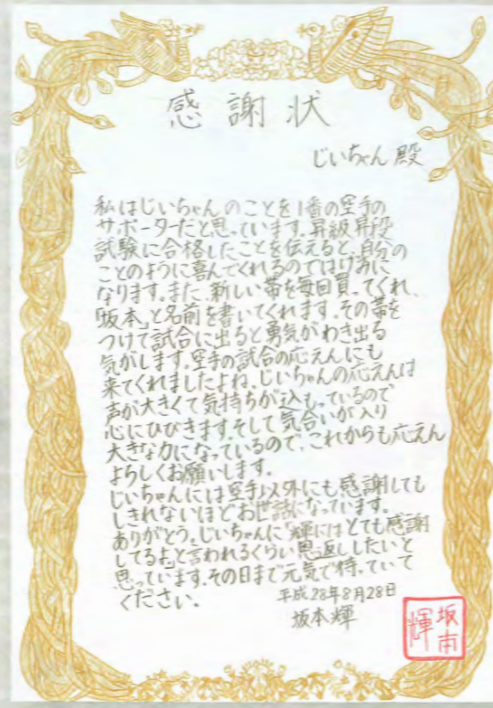
3 山本 知佳さん(4年)
横浜市立 川和東小学校

4 中 己織さん(4年)
横浜市立 田奈小学校

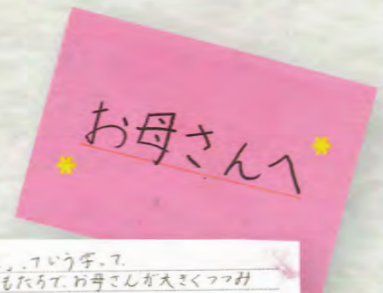
5 鈴木 美結さん(6年)
横浜市立 矢向小学校



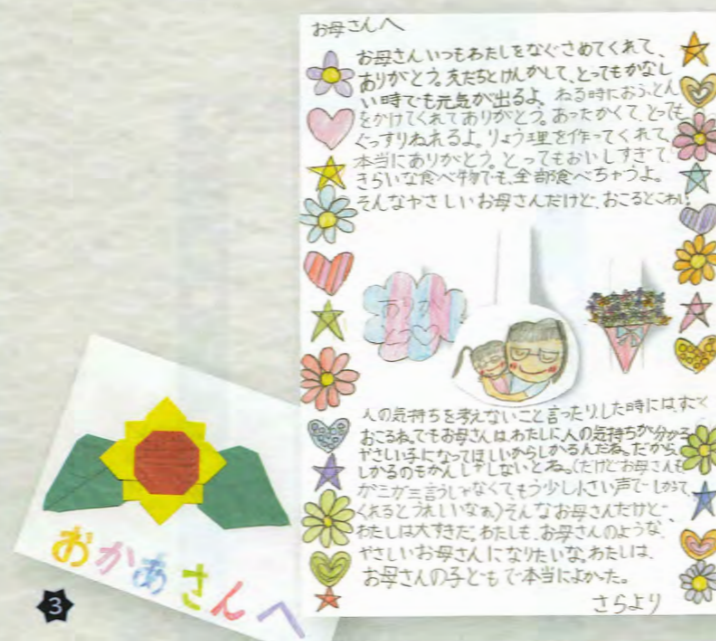
お母さんへ
お母さん、おはようございます。昨日、お父さんがお仕事を休んでくれたので、お母さんと一緒に遊べたのが嬉しかったです。お母さん、いつもありがとう。これからも頑張ってくださいね。
お母さん、おはようございます。昨日、お父さんがお仕事を休んでくれたので、お母さんと一緒に遊べたのが嬉しかったです。お母さん、いつもありがとう。これからも頑張ってくださいね。



- 1 加川 結海さん(2年) 春日部市立 備後小学校
- 2 石津 彩さん(3年) 市原市立 清水谷小学校
- 3 山本 幸来さん(3年) 松戸市立 河原塚小学校
- 4 諏訪 百香さん(4年) 古河市立 諸川小学校
- 5 坂本 輝さん(6年) 千葉市立 鶴沢小学校



もうすぐ小学生になる弟のそう君へ
お母さん、おはようございます。昨日、お父さんがお仕事を休んでくれたので、お母さんと一緒に遊べたのが嬉しかったです。お母さん、いつもありがとう。これからも頑張ってくださいね。



お母さん、母、という字、
たん子とでもたつて、お母さんが大きくなった
ていふ感じがしない？
お母さん、本当に今の通りだね。
私が一番がんばっているのはお母さんだよ。
私と一緒に遊んでくれたら嬉しいな。
お母さん、おはようございます。昨日、お父さんがお仕事を休んでくれたので、お母さんと一緒に遊べたのが嬉しかったです。お母さん、いつもありがとう。これからも頑張ってくださいね。

お母さんへ
お母さんいつもお話を聞いてくれて、
ありがとう。お母さん、おはようございます。昨日、お父さんがお仕事を休んでくれたので、お母さんと一緒に遊べたのが嬉しかったです。お母さん、いつもありがとう。これからも頑張ってくださいね。

- 1 原 優菜さん(1年) 静岡市立 中田小学校
- 2 大場 香依さん(4年) 浜松市立 雄踏小学校
- 3 吉本 沙羅さん(4年) 福井市 社北小学校
- 4 武田 詩生さん(5年) 森町立 宮園小学校
- 5 加藤 果琳さん(6年) 長泉町立 北小学校

審査員特別賞

九州・沖縄
ブロック



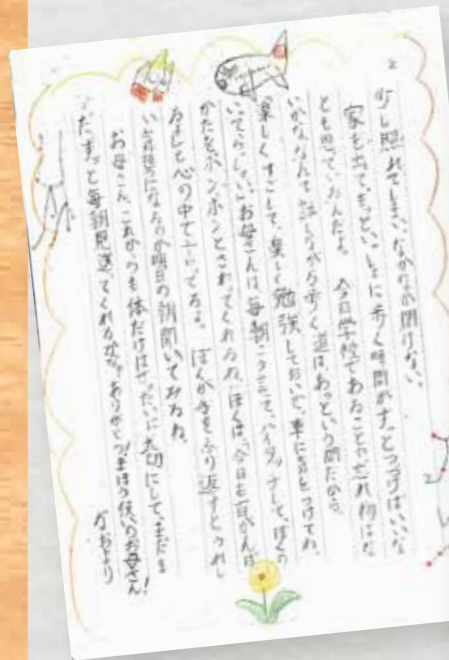
1



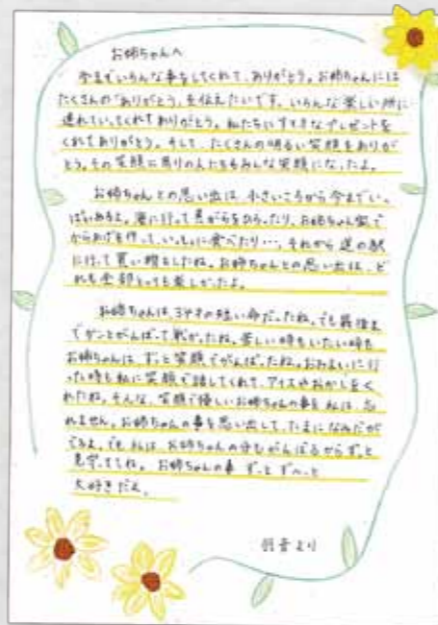
2



3



4



5

1 村山 雫さん(1年)
西之表市立 榕城小学校

2 迫田 よもぎさん(2年)
鹿児島市立 八幡小学校

3 中村 然さん(3年)
宮崎市立 本郷小学校

4 岡本 和旺さん(4年)
福岡市立 草ヶ江小学校

5 川上 羽音さん(5年)
久留米市立 西国分小学校

北海道・東北 ブロック

福島県 福島市立 野田小学校

校長先生のコメント
本校の教育目標は、「夢に向かってチャレンジ!」です。優しく思いやりがあり、感謝する気持ちを持って行動できることも、私たちが大切にしています。一人ひとりが自分の将来の姿を創造し、夢に向かって努力し実現することを願っています。学校・団体賞を励みに、さらに笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思っています。ありがとうございました。

関東 1 ブロック

神奈川県 相模原市立 緑台小学校

校長先生のコメント
本校では環境教育に取り組んでおり、環境に対する感謝の気持ちが、人に対するやさしさや感謝の気持ちにつながっていると思います。これからも、お互いに素直な気持ちを伝え合えるような学校にしていきたいと思っています。

関東 2 ブロック

埼玉県 市原市立 青葉台小学校

校長先生のコメント
「ありがとう」——大切な人にいちばん伝えたい言葉なのに、素直に伝えられないときがあります。今回のコンテストをきっかけに、多くの子どもたちが大切な人への「感謝の気持ち」を確認し、素直に伝えられたことをうれしく思います。

中部・東海 ブロック

愛知県 岡崎市立 矢作東小学校

校長先生のコメント
本校の生活スローガンは、「あ(あ)か(か)が(が)や(や)け(け)! 矢(や)東(とう)っ(っ)子(こ)」です。あ(あ)挨拶、か(か)スリッパや靴の整頓、が(が)返事ができる子の育成を目指しています。「ありがとう」は、もっとも多く交わされる言葉の一つです。児童の手紙には、家族や友達、おじいさんやおばあさん、地域の方々、部活動でお世話になった先輩方への感謝の気持ちであふれていました。これからも心豊かな児童を育ててまいります。

学校・団体賞

応募していただいた全1,940校・団体から選ばれた7校・団体です。受賞した学校から校長先生のコメントをいただきました。

関西 ブロック

奈良県 奈良市立 都跡小学校

校長先生のコメント
都跡小学校では、毎月11日を「やさしさに気づく日」として、日頃の言動を考えたり振り返ったりする機会を設けています。その一つが「やさしさの木」で、1学期「してもらってうれしかったこと」、2学期「がんばったこと」、3学期「感謝の気持ち」というテーマで「葉っぱ」にメッセージを書き、学年で一つの木を完成させます。これからも感謝の気持ちを素直に表現し、相手に伝える取り組みを進めてまいります。

中国・四国 ブロック

岡山県 倉敷市立 大高小学校

校長先生のコメント
学校・団体賞をいただき、ありがとうございます。本校では、「うるおいといきおいのある大高っ子」を育てることを目指して取り組んでいます。これからも1,075人の子どもたちから「ありがとう」がひびき、温かい学校にしていきたいと思っています。ありがとうございました。

九州・沖縄 ブロック

熊本県 熊本市立 杉上小学校

校長先生のコメント
学校・団体賞というすばらしい賞をいただき、ありがとうございます。本校は「ありがとう」という言葉をキーワードに学校教育活動に取り組んでいます。これからも「ありがとう」という魔法の言葉を大切に、子どもたちとともにがんばっていききたいと思います。

グローバル防災(災害リスク軽減)教育

自然災害や気候変動による洪水などの被害に備え、2013年度より国際NGO セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン (SCJ) と協働でグローバルでの防災・減災教育に取り組んでいます。タイ、ベトナム、インドネシアの3か国では、地域のコミュニティや学校を通じて、子どもたちの防災意識を高め、災害リスクへの適応能力を向上させることを目的に、教員への研修、学校授業による生徒への啓発活動、防災マニュアルの開発、消火訓練や救護訓練など、各国のニーズに合わせた支援を行っています。

※この活動は店頭での使途限定募金「グローバル子ども募金」により、SCJと協働で実施しています。



ファミマものづくりアカデミー

ファミリーマートと生徒と一緒に地元の食材を生かした商品を開発し、地域の特産品として販売するのが「ファミマものづくりアカデミー」です。和歌山大学教育学部附属小学校の子どもたちは、和歌山県が育てあげたご当地スイーツ「わかやまポンチ」を普及させる「和歌山ポンチプロジェクト」に2010年6月から取り組んでいます。地元愛にあふれる子どもたちが、地域の食材を生かし、商品になるまでの過程を授業の中で学び、コンビニスイーツとしての「わかやまポンチ」を企画します。プロジェクトにたずさわった子どもたち自身が「子ども店長」となって、商品化された「わかやまポンチ」を販売するお仕事も体験しました。ファミマものづくりアカデミーは、小・中・高・大学生を対象に全国で実施しています。

夢の課外授業 in 東北

by ファミリーマート夢の掛け橋募金

東日本大震災の記憶が残る子どもたちに、「夢」を持つことの大切さを“心”と“体”の両面から学んで欲しいとの思いから、「夢の課外授業」を東北地方の小学校で開催しました。水内猛さん(元プロサッカー選手)と高橋みゆきさん(元バレーボール日本代表選手)が講師となり、全校児童みんなでボールを使ったトレーニングや「夢」を叶えるためのヒントなどを学びました。



ファミリーマートは
子ども支援活動を通じて
地域社会とともに
次世代育成に取り組めます!



ベルマーク運動への参加

2008年4月よりベルマーク運動に参加し、全国で発売しているおむすび全品にベルマークを付けて販売しています。また、店頭で回収BOXを設置して地域の小学校に店長がお届けするほか、店頭、本社、食品工場に寄せられたベルマークを被災地支援として東北や熊本の小学校にもお届けしています。



出前授業

社員が小・中・高等学校へ出向き、それぞれの職能を活かして「ビジネスモデル」や「環境への取り組み」について講義を行う「出前授業」。総合的な学習での「課題解決授業」、「販売接客授業」など、学校からの要請にもとづいて実施しています。



森の教室

次世代を担う子どもたちに、日本人が森林と深く関わりながら生活してきたことや森林がもつさまざまな役割・大切さを伝え教える「森の教室」。公益社団法人 国土緑化推進機構とともに、全国の保育園、幼稚園で開催し、今年5月には参加園児が1万人に達しました。この活動をきっかけに、森を守り、森を育てる活動が各地に広がっています。

ファミリーマート夢の掛け橋募金

1993年にコンビニエンスストアとして初めて店頭で募金箱を設置。2006年からは、世界の子どもたちと地球の未来のために活動を行うNPO/NGOに寄付を行い、支援する「夢の掛け橋募金」として実施しています。募金していただいたお客さまと社会的な活動を行うNPO/NGOとの掛け橋として、寄せられた募金にファミリーマートのマッチング寄付を合わせて4団体に寄付しています。

- 寄付先
- 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
 - 特定非営利活動法人 国連WFP協会
 - 公益社団法人 国土緑化推進機構
 - TOMODACHIイニシアチブ



子ども店長

2009年より、コンビニエンスストアのお仕事体験にチャレンジする「子ども店長」を実施しています。ファミリーマートのユニホームに身を包んだ、かわいい「子ども店長」が登場。お店のスタッフから商品の並べ方や、レジでのお客さま対応などを教わりながら、ファミリーマートの仕事を体験していただいています。参加した子どもたちからは「すこし緊張したけれど、たくさん買ってもらえてすごく楽しかった!」、保護者の方からは「働くことの楽しさと大変さをしっかり学んでもらえた。」と好評をいただいています。

セーフティステーション

地域社会の安全・安心を提供する安心拠点。
地域社会と一体となって、子どもたちを見守っています。

